

第 7 次総合計画策定における課題について

1. 総合計画の検討経過（12 月全員協議会報告以降）

1) 各部会協議

(ア) 関連する「個別計画」の学習

(イ) タウンミーティング（現地視察） などを実施

（7 部会で 21 回開催）

2) 斜里高等学校アンケート・ワークショップ

<アンケート>

(ア) 調査期間 令和 5 年 1 月 17 日（火）～18 日（水）（2 日間）

(イ) 対象者 斜里高等学校に通う全校生徒（86 名）

(ウ) 実施方法 Logo フォームによる電子的に回答を収集

(エ) 回答数 80 件

(オ) 回答率 93%（80/86）

<ワークショップ>

(ア)実施日 令和 5 年 1 月 19 日（木）5～6 限目

(イ)会場 斜里高等学校 3 階視聴覚室

(ウ)対象者 斜里高等学校 3 年生（30 名）1.2 年生（3 名）

(エ)実施テーマ ①斜里町の魅力とは

②住み続けたい斜里町にするには

2. 第 7 次斜里町総合計画策定に向けた「課題の材料」資料 1-2

- 1) 課題の抽出は、第 6 次総合計画の評価、検討委員会での全体学習、個別計画、町民懇談会、町民アンケート意見、高校生 WS 意見などに基づいたもの。

2) 第 4 回全体会（3/2）でこれまで積み重ねてきた「課題の素材」をもとにグループ化し、「タイトル」づけを行うことで整理した。

3) 第 6 次総合計画の 20 の政策に区分して整理した結果、合計 383 項目の「課題の素材」、92 の「小タイトル」、41 の「大タイトル」となった。

3. 今後の総合計画策定について

1) 総合計画の骨格（案）の検討

1. 基本構成（基本目標—政策—基本施策）は第 6 次を踏襲
2. 重点事業 の抽出（数値目標の明確化・ロジックモデルの活用）

2) その他の構成要素の検討

1. 「斜里町デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）」との統合
・国は「まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020-2024）」から「デジタル田園都市国家構想総合戦略（2023-2027）」改訂を行っており、市町村についても同様の改訂が求められている。
2. 他の計画の統合
・斜里町地域福祉計画

4. 今後の予定

- | | | |
|---------|-------|----------------|
| ○ R5.6 | 全員協議会 | 第 6 次計画総括（まとめ） |
| ○ R5.9 | 全員協議会 | 第 7 次計画（骨格） |
| ○ R5.12 | 本会議 | 第 7 次計画（案・上程） |